



津奈木公民館  
電話(78)5400  
○右の題字は「徳富蘇峰さん」の額を写したものです。

# 津奈木



たわむれの塑像



**学校って楽しいところね!!**  
津奈木小学校一年生の教室を訪ねてみました。  
休み時間には広い安全な運動場で伸び伸びと走り回ったり、遊具で友達同士で仲よく語りながら遊んでいます。  
いったん児童も教室に入れば心得たもので、御覧のとおり真剣そのものの表情になっていました。一方では先生のお話はそっこのけ、わいわいがやがや!!学校って楽しいね!!  
でも、大事なところはしっかりと聞いていたようです。それが新入生の姿ではないでしょうか? 給食にしろ学習にしろ日々成長していくことと思います。そうやっていくことを期待して、これからの子どもたちの成長を見守っていききたいものです。

## 一言

日本の漁法は、大きく分けて五つに分かれます。規模の大きい方から、巻網漁法、底曳漁法、刺網漁法、一本釣漁法と、近年盛んになった養殖漁業の五つです。一度に全部を捕えるという意味で、一網打尽と言う言葉がありますが、巻網(さんちやく網)の漁法からきていると言われています。

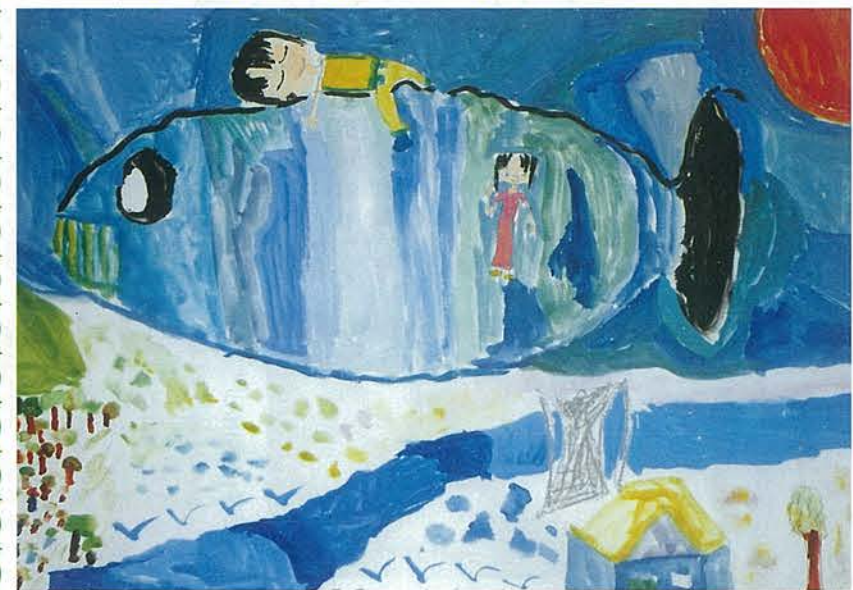
私も生活の糧を不知火海に求めて三十年色んな仕事に従事してきました。今は女房と二人で、吾智網漁を始め、四年目になります。経験を重ねるにつれ、難かしさを覚えるのは、生きた自然を相手にしているためか、それとも色んな規制のためか、それでもたまに大漁した時は、とてもうれいものです。それがあらか、きつい仕事でも楽しくやれると思います。

残念ですが、不知火海はとても狭い海です。いつも沢山の船が漁をしているので、他の異った漁種の船とトラブルが絶えないのも事実です。お互いに相手の立場を考えて、仲良く仕事をしたいものです。  
福田三継(漁業)

## 子ども美術館(19)

文化協会奨励賞(平成十四年度)

津奈木小五年 津奈木 美智子  
※「子ども美術館」紹介シリーズは文化協会奨励賞です。から十五年度作品が決まるまで十四年度作品です。  
この絵でわたしが工夫したところは、くじら雲の色をカラフルにしたところです。また、くじら雲に人が乗っているわけは、わたしも一度くじら雲に乗ってみたいからです。一番むずかしかったところは、木です。一つ一つの葉の色を変えたり、小さく描いたりしたので大変でした。



## 地区おこしの一助に村まつりを復活

昨年に引きつづき「お諏訪さんまつり」(第三回)がありました。戦後一時期は祭りといえ大変な賑わいだったことを、年配の方々はご記憶のことと思います。津奈木町には「村まつり」の雰囲気は十分残っていると思います。「お諏



諏訪宮

訪さん」「大明神さんまつり」「天子宮さん」「將軍さん」「金比羅さん」……例を挙げれば相当数あるようです。年配者の思い出は、また格別ではないでしょうか? それぞれの思い出はあります。  
水俣八幡宮のまつりは「八幡さん」「八幡さん」の愛称で呼ばれています。以前は、小・中学校は午前中、一時間授業、または午後は



阿蘇宮

休みといった具合に、おおよかなものだったと思います。現在では考えられない程、楽しみの一日だったようです。  
現在は宗教色などが問われますが、宗教を抜きにした「地域おこし」の一助に出来る祭りを復活させたいものです。地区民一同で参加できる祭りに盛り上げられることを願っています。



平国天子宮

| 大会名          | 開催期日          |
|--------------|---------------|
| 男子ソフトボール大会   | 5月11日(日)      |
| 女子ミニバレーボール大会 | 〃             |
| 野球大会         | 8月13・14日(水・木) |
| 競舟大会         | 8月15日(金)      |
| 陸上競技大会       | 10月12日(日)     |

## あけぼの大学

受講者募集

平成十五年度の受講者申し込みを受付ています。期日、講師、内容は各校毎によって異なります。多数の申し込みをお待ちしています。  
平成十四年度の延べ受講者は、次のとおりでした。  
津奈木校区  
一八〇名(九回)

赤崎校区  
二〇〇名(六回)

平国校区  
二〇〇名(六回)

## 編集後記

十五年度がスタートし、館報も最初の発行です。今年度も社会教育指導員を中心に、昨年と同じメンバーで編集作業を進めることになりました。気持ちを新たに、親しんで頂ける紙面づくりを心がけて取り組みますので、皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。  
尚、シリーズで取り組んでいます岡松莊一郎氏の「郷土を知ろう」が、今回は紙面の都合で、三面記載となりましたことをお詫び申し上げます。

教職十年目の今年、赤崎小学校にお世話になること



赤崎小 智文  
清永

赤崎小学校の明るく元気のよい十六人の子どもたちといっしょに過ごせることを幸せに思っています。すばらしい学校づくりに精いっぱいがんばりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。



赤崎小校長  
田中 豊志

不知火海の美しい海岸線と山の緑のすばらしさ、そして彫刻を中心とした津奈木町がいつべんに好きになりました。

### 赤崎小学校



芦北町の内野小学校より赴任して参りました。津奈木町の、山と海に囲まれた美しい自然に感動しながら、毎日通勤しています。



赤崎小  
江上留美子

津奈木町は「四季彩」には何度か来たことがありますが、赴任は初めての場所なので、まだまだ分からないところも多くありますが、少しでもお役に立てられるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

になりましたが、赤崎小の子どもたちの元気のよさ、優しさ、楽しく学校生活を送らせてもらっています。実家が芦北町ですので、津奈木町は「四季彩」には何度か来たことがありますが、赴任は初めての場所なので、まだまだ分からないところも多くありますが、少しでもお役に立てられるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

### 津奈木中学校



津奈木中  
伊藤貴美子

佐敷中学校から赴任して参りました。美術を担当しています。

津奈木町は、山の緑と青い海に囲まれ自然が豊かで素晴らしい所だと思います。津奈木美術館もでき、文化の香り漂う町でもあります。津奈木町の将来を担う子どもたちと絵を描くことを通じて学び合っていると思います。

赤崎小学校の明るく素直な子どもたちと出会えたことをとてもうれしく思います。子どもたちや保護者と、地域の方々との出会いを大切に、がんばりますので、よろしくお願いたします。

平野 雅巳 教諭  
田中 豊志 校長  
大橋 隆幸 教頭  
清永 智文 教諭  
二列目右から  
坂口 さきみ 庁務員  
江上 留美子 養護教諭  
白坂 有里 事務職員  
竹永 富子 補助員  
富安 周男 理科非常勤講師

二列目右から  
刈上 竜一 技術  
堀川 智恵 家庭  
井島 光明 数学  
有田 啓二 理科  
早川 美津恵 養護  
富高 俊司 数学  
澤井 静代 相談員  
荒川 美津子 庁務  
佐枝 源太郎 事務

一列目右から  
リッセル・ボリスク 英語  
下田 晶子 英語  
宮本 奈保 英語  
平尾 雅述 教頭  
大淵 尚史 保健体育  
伊藤 貴美子 美術  
中村 秀之 社会  
山崎 るり子 国語

親子三代にわたる津奈木手永とのかかわりを綴った「内分帳」は八冊に及び、登場人物は津奈木の人間で二百年前のご先祖が生きいきと浮かびあがってくる。  
葦北郡史料叢書  
徳富家文書(全三冊)  
岡松莊一郎

寛政十年正院手永へ転任父のあとを継いだ茂十郎に土堤の補強が託された。堀り立ての堤防を石垣で固める工事は、茂十郎の才覚と村民の公役によるものである。文化七年(一八一〇)若くして病死した茂十郎のあとを伴太善次が継いだのは文政五年(一八二二)、弱冠二五才のとき、向ッ気が強く、のち豪放磊落な政治手法を貫いた。

など扇子一つも与え、皆の前で誉めてやった。勿論叱ることも忘れず、誉める効果を知っていたからである。寛政八年(一七九六)未曾有の大洪水で沖田が潰滅それまで会所前(現中学校)から斉藤五助氏宅横へ直角に折れ搦手川(現千代川)に合流していた。太七は振れていた川の流れを変え、新川を掘って古川を埋める大工事に着手。  
寛政十年正院手永へ転任父のあとを継いだ茂十郎に土堤の補強が託された。堀り立ての堤防を石垣で固める工事は、茂十郎の才覚と村民の公役によるものである。文化七年(一八一〇)若くして病死した茂十郎のあとを伴太善次が継いだのは文政五年(一八二二)、弱冠二五才のとき、向ッ気が強く、のち豪放磊落な政治手法を貫いた。

### 郷土を知ろう

#### 孝女千代の顕彰碑を建てる

天明四年(一七八四)その人柄から拔擢され、津奈木手永御惣庄屋となった徳富太七の最初の仕事は、孝女千代の顕彰碑を建てることだった。  
御百姓や漁民のやる気を促すため、孝行者、篤農家を

### お世話になります 町内小・中 先生紹介



### 津奈木小学校

一列目右から  
藤本 智美 少人数指導  
吉永 敏昭 一年二組担任  
大塚 博資 校長  
平川 公徳 教頭  
緒方 利恵子 三年二組担任  
二列目右から  
津奈木 和裕 三年一組担任  
中川 純子 事務職員  
小崎 富美 養護教諭  
宮崎 彩 学校栄養職員  
岩見 浩史 五年一組担任

三列目右から  
森永 佳代 五年二組担任  
千々岩 みどり 六年二組担任  
百原 照美 一年一組担任  
出田 滋 二年担任  
四列目右から  
村上 昭子 庁務員  
丸尾 浩輝 六年一組担任  
山口 博志 四年担任  
上村 みゆき すみれ学級  
松本 信昭 教務



津奈木小  
藤本 智美

数年前より勤務しているかの様な接し方をしてくれて津奈木小の子どもたち。赴任できた喜びをかみしめています。  
入学式に締めていたネクタイがドラえもんデザイン。夢をいっぱい持ちながら仕事してまいります。よろしくお願いたします。



津奈木小  
吉永 敏昭

津奈木小の子どもたちとの最初の出会いは、四月一日のバスケットボール部の子どもたちとのあいさつでした。優しく礼儀正しいその姿が強く心に残りました。  
また、道ですれちがう地域の皆さんも、気持ちのいいあいさつをして下さいました。「あいさつは心をうつす鏡」です。すばらしい学校にこれた喜びで一杯です。



津奈木小教頭  
平川 公徳

水俣第二小学校から赴任してきました。昨年、子供が入学し、今年からは、親子共々、津奈木小にお世話になります。公私共に、ドキドキハラハラの毎日ではないかと思いますが、津奈木小の子ども達と共に精一杯がんばります。よろしくお願いたします。  
自分の小学校生活を思い出し、振り返りながら津奈木小の子どもたちと共に精一杯頑張ります。



津奈木小  
緒方利恵子

芦北町立佐敷小学校より参りました。  
津奈木町は、美しい山と海に囲まれたとてもきれいな町だと感じました。  
津奈木小の子ども達と初めて会った時、大変元気のいいあいさつで迎えてもらい素晴らしいと思いました。このような良い環境で、子ども達と勉強したり、遊んだりできることを大変嬉しく思います。  
早く津奈木町に慣れ、地域の方々とも親しくなりたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。

津奈木小の子ども達と初めて会った時、大変元気のいいあいさつで迎えてもらい素晴らしいと思いました。このような良い環境で、子ども達と勉強したり、遊んだりできることを大変嬉しく思います。  
早く津奈木町に慣れ、地域の方々とも親しくなりたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。

### 平国小学校



一列目右から  
宇田津 正樹 三年担任  
白石 健二 教務・IT  
祝 迫 秀博 校長  
西田 祐二 教頭  
山下 緑 一年担任  
寺本 壽子 ひまわり担任

二列目右から  
吉永 史斗 四・五年担任  
一藤 清美 一年担任  
山下 小百合 事務職員  
福山 加奈子 庁務員  
前田 裕美 養護教諭  
森 安広 六年担任

念願が叶いまして、再度津奈木町へ帰って来ることができたことを心より感謝し嬉しく思っています。  
学校は、平国小学校ですが、地域の方々の温かい心



平国小  
寺本 壽子

遣いや素直で明るい子ども達、更に、学校からの絶景に日々、心癒されています。このようなすばらしい環境の中で、初心に立ち返り、子ども達と共に学び合い、一日一日を気持ちよく過ごしていけるように努力していきたいと思っています。

私は、昭和三十一年三月に水俣高校普通科を卒業して四ヶ月間チンソに勤務した。一生懸命やったので本採用の話があったが、八月四日に海上自衛隊舞鶴練習隊に入隊予定のため入社を辞退した。私には小さな志が三つあった。

第一は、水俣病発生で網元をしていた父孝助に多額の借金が残った、タバコを止めて高校の学費にしてくれ、父を助けるため、海上自衛隊に入隊した。初任給六千円の中から最初四千円（現在十一万相当）を毎月と、ボーナスを送金した。



小さな「志」を果たして帰郷  
津奈木町で余生を送る

間寝たきりとなり、妻は子供三人を育てながら、介護をしてくれたので、私は定年まで勤務することができたことに感謝している。現在、妻の両親が寝たきりで

古川 濱本 純男

## 人生二人三脚

井上 工さん(55) 輝代さん(52) (染竹地区)

永年勤められた職場を退職されて、「コンビニ経営」を始められました。

「今まで一生懸命仕事に頑張ってきたけれど、余りに忙しすぎて休みがほとんどなかった。」



展示会場にて（自作品前）

「自宅には、寝に帰るだけで、子供の教育は妻任せ。夫婦喧嘩をする時間さえもない。こんな状態が続くとストレスで、体のあちこちに不調がでてくる。」

そういう生活を振り返った

時、「果たして自分は何をやっているんだろう？もう少し人生を楽しみたい」という思いを、ずっと持ち続けられたそうです。

対する輝代さんの反応は「（あなたの好きなように）やめてもいいよ」とあつさりしたものだったとか。

結局、五十二才の時決断されたことでした。

それから二年余り。仕事は忙しいし、奥さんとの夫婦喧嘩もやっぱりあります。でも、週一日の休日を楽しみに、充実した日々を

(寺本記)

## 短歌

本郷武雄選

## 肥後狂句

つなぎ短歌会

初雷に子等の作りし雪だるま  
日にとけ炭の屑かたむけり  
寺本ツルヲ

元旦に活けたるままの梅一枝  
かたき雪のやふくらみて  
白浜美和子

枝を切り牛入をなせるぼけの木に  
薄桃色の雪ふくらむ  
福田八重子

潮騒の聞こゆる長島東町  
湯あがりあとの刺身の旨し  
西川 ムキ

生かいたえうる体をもつために  
散歩と食事にくばりいぬ  
沢田しずを

春風ふき暮りゆき道上の木々は  
たわみて呻り上げる  
西 滋子

ふる里は何処の川かデパートの  
ケースに泳ぐめだか幾匹  
野田 渾子

ホヤホヤ  
今が花たい さぞ良から  
惜しいなあ  
愛嬌なかの玉にキズ  
幸 相

ホヤホヤ  
なりたて教師 固うなり  
惜しいなあ  
桜花爛漫 ひと雨で  
寅之助

ホヤホヤ  
すべすべ柔らか鏡餅  
惜しいなあ  
三人どみあ 生まじあし  
達 生

ホカホカ  
冷めんうちに ごつんなろ  
惜しいなあ  
一点の差で不合格  
神無月

ホヤホヤ  
世間知らずで見ちゃおれん  
惜しいなあ  
とんと愛想の無か美人  
万 葉

〔次回の笠〕  
○不あんばい ○おだてられ  
一笠一句を 六月十日の迄  
津奈木町教育委員会へ

## 第七回生涯学習 フェスティバル



民謡「四季の会」



展示作品紹介



満員の観客



フラダンス「ハワイの雰囲気…」



赤崎小太鼓発表



舞鶴太鼓の熱演

去る、二月十九日から展示部門が始まって二十三日まで、つなぎ文化センターにおいて、個性豊かな人づくりや活力ある地域づくりで交流を深めてきた成果の発表がありました。

町民講座や自主講座において一年間にわたる努力の結果を発表されました。

ステージ部門では大正琴を皮切りに民謡四季の会、コーラス、郷土芸能、フラダンス、太鼓、中学校合唱

の発表でした。

展示部門では陶芸教室、パッチワーク教室、ちぎり絵、つまみ絵等々素晴らしい作品、丹精込めた作品ばかりで、立ち止まってじっくり鑑賞されていました。

作品にはそれぞれの個性があり、また世界に一個しかない作品ともなれば愛着もあることと思います。

参加された関係団体の皆様お疲れさまでした。

## 「風人子 映写会」

### アイスエイジを見て

津奈木小二年 金子はるか

文かセンターでアイスエイジを見ました。さいしょに、えい画がはじまった時に、やせっぽちのりすが、どんぐりをどこかにうめようとしてどこかあなをほろうとして、あながあかないのでむりやりやったらこおりの上に大きいひびがはいってこおりがわれました。みんなが、わらってました。

アイスエイジのおはなしは、シドとマンモスとタイガーが、赤ちゃんをお父さんにかえしに行くえいがです。はじめはながよくなかったけどだびをしていたらなががよくまりました。

さいごに赤ちゃんをお父さんにかえせたけれどシドとマンモスとタイガーはなれるのがさみしいと思いましたが、さいごにまたちきゅうにひびがはいったのがたのしかったです。



わたしは、「ゆうこのあさごはん」というおはなしをよみました。

このおはなしは、ゆうこのあさごはんをたべるとき、ゆうこが、テーブルにおいてあったゆでたまごをたべようとしたら、たまごがおきて、ゆうこにまほうをかけて、二人でいろんなところに行ったおはなしです。

おもしろかったのは、たまごが、「しおをほんのすこしゆびにつけて、なめてごらん。」といったら、ゆうこが小さくなってしまったところです。たま

## 読書感想文 「ゆうこのあさごはん」を読んで

赤崎小2年 ささき まなみ

「ゆうこのあさごはん」は、よんでいて、とてもたのしいおはなしでした。

わたしのいえにもたまごが出てきて、大きくしてくれたらおもしろいだろうなあとおもいました。

わたしは、これからもたくさん本をよみたいです。

文化センター広場設置  
「たわむれの望像」(表紙写真)  
作者 下田 治氏紹介  
一九二四年満州に生まれ立教大学卒業後、渡米、長らくニューヨークで活躍された彫刻家です。二〇〇〇年、赤血球が著しく低下する病気で突然死去。  
氏は、幾何学的なモニュメントをはじめ、背景を取り込んだ空間自体を彫刻するような作品を製作。一九九七年には、旭川市の「中原二郎賞」を作品「かみつめす犬」で受賞。